

第3次 健康のべおか21（案）に関するパブリックコメント／意見の概要と本市の考え方

○意見募集期間：令和6年11月25日（月曜日）～令和6年12月16日（月曜日）

○ 結 果 ：提出者 7名 1事業所、意見 13件

No	分類	ご意見	市の考え方
1	全体	アンケートの設定項目に基づき良い結果が集約できていると思います。年齢を重ね健康に対する考え方が変わってきました。行政が健康長寿のまちづくり活動をより使いやすく策定して頂いてと思います。市民全員の健康が市政の発展につながると思います。よろしくお願いします。	健康づくりや疾病の発症予防・重症化予防のための様々な取組を実施することにより、市民の皆様の健康寿命の延伸を図っていききたいと考えております。
2	栄養・食生活	自分は、一人なので一日分の野菜ジュースを飲んでます。足が少し悪いので、さっさと歩けないので遠い所に行けません。買い物は、自分で集めて買います。自分は健康維持のために体に良い物を食べています。自分の体は自分で守るしかありません。	栄養・食生活は、生命の維持に加え、健康な生活を送るために欠くことのできないものです。多くの生活習慣病の予防のほか、やせや低栄養などの予防を通じた生活の維持・向上の観点からも重要です。栄養・食生活についての情報発信を行い、栄養面においても市民の皆様の健康維持が図られるよう努めてまいります。
3	身体活動・運動	少子高齢化が問題視されている今、健康寿命を伸ばすことは高齢者だけでなく、多くの人にとって必要なことだと感じます。私は、現在宮崎市内の大学に通学しており、サークル活動に参加していないため、自分で積極的に歩くようにしています。市内は散歩コースが充実しており、私以外にも歩いている人や走っている人を多く見かけます。その際、活用しているのが延岡健康マイレージです。自分の健康のために毎日継続して歩くことは難しく暑い日や寒い日は歩くことが億劫になり、その日の運動量が著しく低下してしまいます。しかし、歩いて稼いだポイントを店舗で使うことができるため、歩くことで得られるメリットが大きく運動促進につながっています。また、運動はモチベーションを保つことが難しいです。そこで、延岡健康マイレージのイベントを活用しています。私は、家族で指定された場所を歩くとポイントがもらえるというイベントに2回参加しました。話しながらゲーム感覚で歩くことで楽しく運動することができます。そのため、アプリを有効活用し、市民の運動促進を図ることで個人行動と健康状態の改善につながると考えます。	健康づくりに気軽に取り組んでもらうために、のべおか健康マイレージアプリを活用し、市民の健康づくりの意識の変化につなげていききたいと考えております。貴重なご意見をいただきましたので、利用者を増やすための取組を今後も継続していききたいと考えております。
4	循環器病 がん	今まで、延岡市健康増進計画に向けて統計やアンケートをしてたり知らないことが多く、もっと健康に気をつけなければいけないなと思いました。とくに、循環器の脳血管疾患の年齢調整死亡率が延岡市が全国より高いのには驚きました。個人の意見としては、私のまわりが子宮頸がんにかかっている人が多いので、もっと健診を受けてほしいと思います。	延岡市健康増進計画や疾病の発症予防についての知識、各種健診などの情報について、様々な媒体を活用しながら情報発信を継続し、普及に努めていきます。

No	分類	ご意見	市の考え方
5	ご意見	息子は自閉症という障害があります。てんかん発作も時々起こすので、てんかん薬を服用しています。息子の体調管理のため色々対策しています。食事、運動、部屋の環境管理、運動は通所している作業所で月～金までウォーキングなど色々取り入れて頂いています。避難訓練も定期的を実施している様です。冬のヒートショック対策などは、高齢になった私達、親にとっても良い対策になっています。息子のためにやっている事が結局は家族全員の健康につながっていると思います。	災害や季節に応じた健康管理についても健康づくりのためには必要なことですので、今後もしっかりと啓発をしていきたいと思います。
6	全体	健康のべおか21という取組が行われていたこと自体知りませんでした。延岡市として市民のために取組があることと、こんなにも市民のことを考えていることをもっとアピールすべきだと思います。情報発信を取組で多く挙げられていたので最重要かと！！	今後もホームページやSNS、広報など、様々な媒体を活用しながらさらに情報発信を行っていきます。
7	栄養・食生活	減塩商品の選択や野菜を多く摂るには費用がかかります。そこに対する支援（これら（減塩食品や地元の野菜）の購入による還元等）が必要かと思えます。	減塩食品や地元野菜の購入に対する費用助成は行っていないですが、適正な食生活への支援として、季節やライフスタイルに応じた食品選択の工夫などの情報提供を行ってきたいと考えております。
8	身体活動・運動	公共の交通機関の充実が必要だと考えます。自然と身体活動量が増えると思えます。	各ライフステージに応じて、日常生活の中で自然と身体活動量を増加できるような工夫について知識の普及啓発に努めていきます。 また、1月から新たに2つの市内循環バスの路線の実証運行を開始するなど、公共交通のさらなる充実を図っていきます。
9	身体活動・運動	ウォーキングコースが整備されると嬉しいです。河川敷の遊歩道はありますが雑草の管理やうす暗くなると足元が光るライト等があると助かります。	関係部署と連携しながら、歩きやすい環境づくりに努めていきます。 また、安心して歩いていただける中心市街地でのウォーキングイベントについて、のべおか健康マイレージやのべおかCOINとつなげながら展開していきます。
10	がん	影響力のある方が病気で亡くなられた際、関連する検診があれば案内を出すと、自分事として考え、受診者増加につながるのではないのでしょうか。	ご指摘の点も参考にさせていただきながら、各種健診については、様々な媒体を活用し普及啓発に努めていきます。
11	誰もがアクセスできる基盤の整備	のべおか健康マイレージや延岡市公式LINE等日頃活用しています。イベント情報や健康につながる情報等受け取れて助かっています。今回延岡市が市民のために考え取り組んでいることを知れたのも良い機会でした。ありがとうございました。	今後も、様々な媒体を活用しながら、健康づくりのための情報発信を継続します。

No	分類	ご意見	市の考え方
12	喫煙 COPD	<p>第3次健康のべおか21の案を拝見しました。喫煙率の減少が国の目標値を上回る数値となっている算出根拠を示して欲しいです(回答①)。出典が「こころとからだのアンケート」とありますが、どこに記載されているか不明です(回答②)。目標値は国同様に求めます(回答①)。</p> <p>また、「新たな喫煙者を増やさないように取り組む」との記載がありますが、たばこは嗜好品であり、吸う吸わないの考えは個人によるものであり過剰な文言と感ずます。受動喫煙防止対策の推進は理解できますが、文言の削除及び算出根拠をお示しください(回答①③)。</p> <p>「新たな喫煙者を増やさないようにする」は市として制限できるのでしょうか。個人の自由ではないでしょうか。文言の見直しをお願いいたします(回答③)。</p> <p>喫煙者減少について目標値が独自設定となっており、喫煙者締め付けと受け取れます。喫煙者が肩身の狭い思いをしており厳しい数値です。国と同じ数値目標にする等修正をすべきではないでしょうか(回答①)。</p> <p>また、「他人の喫煙により、たばこから発生した副流煙にさらされる受動喫煙も肺がんや虚血性心疾患等のリスクを高めるとされています」との記載がありますが、どこから引用でしょうか。高めますと言い切れないのであれば記載する必要性を感じません。削除をお願いします(回答④)。</p>	<p>①目標値の設定について 喫煙率の目標値設定については、統計学的手法(Percent-Improvement-and-Minimal-Statistical-Significance-Tool)(P19、P89)を用いて検討しました。喫煙は、がんや循環器疾患、閉塞性肺疾患等の危険因子で、喫煙による健康被害を回避することが重要であると考えております。本市の循環器疾患の年齢調整死亡率は全国や宮崎県より高いため、国の令和14年度の目標値12%(現状値：令和元年度16.7%)とは異なりますが、本市の現状を踏まえて喫煙率14.7%を11.2%に減少させることを目標として取り組んでまいります。</p> <p>②喫煙率の出典について 喫煙率の現状値は、「令和5年度こころとからだの健康に関するアンケート」(P64～81)の間18「あなたはたばこを吸いますか」の設問に「ときどき吸っている」「毎日吸っている」と回答した者の割合です。</p> <p>③「新たな喫煙者を増やさないようにする」という表現について 喫煙が、がんや循環器疾患、閉塞性肺疾患等の危険因子となるという体への影響の周知により、個人が喫煙をしない選択をすることは、新たな喫煙者を増やさないことにつながるようになるため、「新たな喫煙者を増やさない」と記載していましたが、「喫煙による体への影響の啓発」に変更します。</p> <p>④受動喫煙のリスクについて 「喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書(H28.8月、厚生労働省)」によると、受動喫煙の健康影響として肺がん、虚血性心疾患、脳卒中ともに、科学的証拠は因果関係を推定するのに十分(レベル1)となっています。このことを基に、受動喫煙に関して基本的な考え方を記載していますので、ご理解をお願いします。</p>

No	分類	ご意見	市の考え方
13	身体活動・運動	<p>高齢者の健康増進について 表記の件、計画では「個人の行動と健康状態の改善に関する目標」の2項身体活動・運動の章で、歩数の増加と運動習慣者の増加を目標に上げておられます。以下運動習慣者の増加のための提案です。ご検討くださいますよう、お願いします。</p> <p><提案> 各公園に高齢者用のストレッチ系の健康遊具を設置も計画に盛り込んで下さい。</p> <p>西階運動公園階段上にはシニア用の機材が設置してあり、訪れる人も多く、高齢者の健康増進にとっても役立っています。これを、一般の公園にも展開すると、身近な所にしか行けない各地区の高齢者が利用できます。「行きたい時に一人で行ける」というのはとても重要な事、と考えます。</p> <p>公園の管轄は都市計画課ですが、「高齢者の健康増進」の視点で、健康長寿課がリーダーシップをとって、実行して下さいますようお願いいたします。できましたら、3か年計画を作ってください。</p> <p>高齢者が家から外に出て、皆と集う場所にもなると考えます。こちらの効果も大きい。と考えます。以上です。</p>	<p>現在、市では地域の方々のご意見をお聴きしながら、公園に順次健康用具も整備していますが、ご提案いただきました「高齢者の健康増進」に関する内容はとても大事な観点であると考えますので、今後も順次取り組んでまいります。</p> <p>また、個別の案件につきまして、3ヶ年計画というようなものは作成しておりませんが、今後もそのような観点を重視しながら、庁内で協議してまいります。</p>